

研究グループの大学院生募集案内

項目	内容
1 研究グループ名 (英文名)	植物分子生理学研究グループ (Plant Molecular Physiology Group)
2 教員氏名・所属	中村 達夫 (准教授・環境生命学専攻)
3 研究概要	植物分子生理学分野における最先端の解析技術を用いることにより、植物や藻類の代謝を遺伝子やタンパク質、細胞のレベルで解明するとともに、世界で問題となっている食糧・栄養問題や環境問題の解決に貢献することを目指しています。
4 求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・植物機能の分子メカニズムを解明して社会に役立てたいと考えている方 ・植物分子生理学分野で修士または博士の学位を取得したいと考えている方 ・植物分子生理学分野の学者、研究者、技術者になりたい方
5 研究環境	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝産物解析のための分析装置 (LC-MS、GC-MS、LC-UV/CD、LC-FL、GC-ECD 等) がそろっています。 ・分子生物学、遺伝子工学分野に必要で一般的な機器類が全てそろっています。 ・遺伝子組換え植物の実験に用いる温室や人工気象器、P1 実験室、P2 実験室が整備されています。 ・機器分析評価センターではさまざまな高性能の分析機器が利用可能です。 ・植物を栽培するための圃場 (平塚教場) が利用可能です。
6 多様な履修システム	<ul style="list-style-type: none"> ・一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。 ・短縮修了：正規には修了に2年間(博士課程前期)もしくは3年間(同後期)かかりますが、それぞれ最短で1年間への短縮が可能です。 ・長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で4年間(博士課程前期)もしくは6年間(同後期)までの長期履修が認められます。
7 経済的支援	授業料免除、RA (リサーチ・アシスタント)、TA (ティーチング・アシスタント) の制度が充実しています。
8 募集スケジュール	第1次募集 (2013年10月入学及び2014年4月入学) <ul style="list-style-type: none"> ・出願期間：平成25年6月17日～6月20日 (書留郵便による郵送受付) 詳しい内容は下記の大学 Web ページを参照してください。 http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html
9 問い合わせ・連絡先	中村 達夫 (准教授) 電話: 045-339-4416, メール: t-nakamu@ynu.ac.jp 研究室 Web サイト: https://sites.google.com/site/tatsuonakamuralab/